

Capo. 2 F#m
Capo. 2 オープンD

菜の花

D G D A D G A D

^D何もない^A道を^G抜けたら^D
^G黄色く^Aまぶしい^G世界が^D広がる
^G見ている^Dだけで^A嬉しく^Dさせてくれる
^G陽に^D映えて^A美しく^D風に^A揺られて^D暖かく

^Dひとつでは^A頼りない^G菜の花^D
^Dまとまる^Aことで^Gあざやかな^Dじゅうたん
^Gほしの^Dひととき^A楽しく^Dさせてくれる
^G5月の^D青い^A頃に^Dウズイブしながら^A

^Dもうこのまま^G生きてゆこうと^A

^{F#}思っていたのに^A

^Dまだまだ^Gいいことを^D求めながら^A

^{F#}探している^Gことに^A気付く^D

ノミル+オープンD

ひとりでは足りない何かか
 一緒にいることで満ち足りた気持ちに
 ささやかな暮らしの他には何もいらない
 これまでの全てを整理しはけがたいた

もう誰にも知らぬが...と

思っていたのに

まだまだ^{F#}いいことを求めながら

探していることに気付く

もうこのまま生きてゆこうと

思っていたのに

まだまだ^{F#}いいことを求めながら

探していることに気付く

断捨離

^{E_n} G A₁

^D とまわくものないから ^{B_n} おまわりしたいから

^{E_n} 無理をしないところ ^{A₁} で手放してみよう

^D ものすごく好きでも ^{B_n} 大切でもないものは

^{E_n} わからなくなる前に ^{A₁} 手放してみよう

^D 霧が晴れるような ^{E_n} 気持ち ^{A₁} 味わってみたくて ^D

^D だから何となく ^{E_n} ^G 煩わしくなつて ^D

^D 本当の自分 ^{E_n} 知りたくて ^{A₁} ほんまにするために ^D

^D ちゃんと ^{E_n} ^{A₁} 確かなもの ^D ビンにあるのだろう

^D ^{E_n} ^A ^D ^D ^{E_n} ^A ^D
忘れてしまいたい 身軽になるために

ノーマル + ナツシビル

複雑な毎日に とらわれることもなく

無理をしないところ ^D で 片付けてしまおう

ものすごく好きでも 嫌 ^D でもないものは

別れてしまう前に 離れてみよう

たくさんの思い 詰め込めて 生きることではない

過去にすがる気持ちも 断ち切ってゆきたい

守るべきもの知りたくて 確認するために

気持ち、生き方を見つめてゆくんだ

いつかはサヨナラが来る 怖さをなくすために

忘れてしまいたい 気軽になるために

僕は退きません

Em D Em D

Em ぶつれたきっかけで D 起るハラスメント

Em 強..人がまじに声高に D

F 特別に理由(わけ)もなく D 立場 守るだけで

F 弱い人のことを踏み台 D にして

G 傍目にはわからない 誰に聞 D ..ても良い人

G おそらく僕しか知ら D ない、

* G 心のハゲテ手か D くれしかない哀れさを

G かしら同情 D にはあげよう **

D 僕は退きません Em A D このスタンスから

D あなたと強 D いる場合 A D ことも馬鹿らしい

負けたフリをしながら 煽るだけだわ

心から折れているわけじゃない、

いつかは僕の方が 立場良くなるかもね

その時のことまで予想できないかな

傍目にはわからない、 なしでもできそうな人

おそらく大したことはない

(** ~ **)

本当のことは いずれ知られるよ

後悔するのは きっとあなただけ

僕は退きません このスタンスから

あなたのノーマルに 合わせてのこともない

Capo. 0

(Em)

滝と泉と

D

* たたきつけるような水の音

唸るように流れ落ちる滝

いきまよれる 澄んだ水の底

こんこんと湧き出る不思議な泉 **

ハワ-もら、たくて 切り替えるために

滝の前で手を合わせて 悩み事をつぶやく

落ちていくはずなのに 向かか昇ってるように

白いしぶきが 煙のように イオン散らして昇る

1-7-11 + オ-2-2-3em (D4 DF A5)le.

* 気持ちを変えてみたくて 全部入れ替えたくて

周りの全ての流れが 思うようになれたら **

(* ~ **)

清い、気分もとの リフレッシュしたくて

泉の前で手を合わせて 願い事をつぶやく

湧き出す勢いにより 時折変わる水の形

神秘的な美しさに心が洗われてゆく

(* ~ **)

(* ~ **)

Capo. 2

(A)

夕暮れの中で

G Em An D

^G新しくできた ^{Em}海岸公園 ^{An}の中 ^Dを ^{Em}歩いてく
(あたらしい海) (わたすらに)

^{An}夕暮れ ^G前の海は ^{An}明るく ^G空に混じって

^{An}わたしの心 ^{D7}の中も ^G照らして ^G笑ってる

夕暮れの中で (静かに笑う)

ただわたすらに 追っかける 眩しい (キラキラと)

ベンチに腰かけて 遠い山と島々を

黄色く燃える 日玉の下に 映し出して

1-マ、L

この頃の夕暮れは

さみしくなることもなく

わたしの心の中にまじり輝いている

(あなたか) そばにいるから

(あなたか) そばにいてくれるから